

会 議 録		令和 5 年 3 月 3 日 作成	令和 8 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府舞鶴警察署協議会（令和 4 年度第 4 回）		
開催日	令和 5 年 2 月 8 日（水曜日）		
時 間	午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分までの間（120 分）		
場 所	京都府舞鶴警察署 東庁舎講堂		
出席者	宮本会長、吉岡副会長、川中副会長、永野委員、山岡委員、土井委員 衣川委員、福本委員、船越委員 （欠席 酒井委員、伊庭委員） 計 9 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、 地域課長代理、刑事課長 警備課長、交通総務係長、広聴相談係長 計 11 人		
諮 問 事 項	各課からの提案と協議		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長 2 署長挨拶 3 協議 司会 会長 (1) 諮問事項説明 警務課業務について～警務課長 【委員】 6 年くらい前だったと思うが、福知山市で警察のヘリコプターを見せてもらえるイベントがあった。子どもたちはもちろんのこと、大人も非常に楽しませてもらった。舞鶴警察署には「警備艇ゆら」があり、同様のイベントを企画すれば市民と警察との距離が近くなり、警察官になりたい子どもも増えるのではないかと。		
	【委員】 先日、京都府警察年頭視閲式で様々な種類の警察車両を見せてもらった。非常に興味深いものであり、年始以外でも同様のイベント（例えば北部イベントのようなもの）があれば、広報活動として良いものになると思う。		
	【委員】 数年前、平安騎馬隊が中舞鶴小学校を訪問されたが、再びあのようなイベントを開催してほしいと思った時、どこにお願いすればよいのか。		

か。どんな条件で実施してもらえるのか全く分からない。例えば、チラシなどで「イベント依頼の窓口」のような広報を行ってもらえるとありがたい。

【委員】防災の話と関連するが、中舞鶴小学校では以前、児童自身がハザードマップを調べて地図に書き入れ、自分が住んでいる地域の状態を知る防災学習を行ったことがある。自主性が芽生え、防災に関心が持てる良い学習だったことから、そのような機会に警察の装備や車両なども見せてもらえると一層関心が深まると思う。

【警察】令和4年度中は3回、当署員が施設に出向き、パトカー・白バイの見学を実施しているが、いずれもこちらから広報を行ったわけではなく、相手側の要請・要望に応える形で実施したものであり、今後は見学やイベント実施の広報を前向きに検討する。

(2) 諮問事項説明

刑事課業務について～刑事課長

【委員】「現在、舞鶴市内に暴力団事務所はない」と聞いたが、全国ニュース等では「ハングレ」という言葉をよく耳にする。舞鶴市内でも、そのような人物や集団は存在するのか。

【警察】どこの街でもそうだが、舞鶴市内にも「ハングレ」と呼ばれるような人物・集団は一定数存在する。刑事課組織犯罪対策係は、それら暴力団員に準ずるような人物・集団についても対象とし、日々、捜査活動を行っている。

【委員】昭和50年代には舞鶴市内にも暴力団事務所があり、暴走族もかなり盛んだった。当時と比べ、今は非常に穏やかになっており、全国では日々、振り込め詐欺や強盗などの組織的な犯罪が発生している。私たち市民の平穏な日常生活が脅かされないよう、警察は尽力してほしい。

【委員】選挙の際、自治連合会から投票場の立会いを出しているが、警察官の立ち寄り時には投票場が引き締まり、非常に助かる。不正行為の抑止力になっていることを肌で感じたことから、今後とも願います。

【警察】警察では民主主義における1票の重さを認識し、決して不正行為によって選挙結果が変わることがないように、毎回、署の力を結集して選挙違反取締りを行っている。「不正行為の抑止力となっている。」とだけ言っただけなのは非常に嬉しいことであり、今後も支援と協力をお願いします。

【委員】最近、全く面識のない者同士がスマートフォンを使って共謀し、凶悪犯罪を起こしている。捜査をする側にとっては本当に厳しい時代になったと思うが、市民のために今後も頑張してほしい。

【委員】先日、舞鶴市内ではないが、自転車のカゴに置いていた物がなくな

会 議
内 容

会 議
内 容

り、近くの交番へ相談に行ったところ、警察官の対応が非常に素晴らしかった。その警察官は面倒がらず親身になって話を聞き、防犯カメラ映像の確認などの対応をしてくれた。終始、非常に穏やかで明るく、本当に気持ちのいい対応だった。今後も市民の味方、市民のための警察であってほしい。

【委員】私は学童保育に携わっているが、最近の小学生は一人1台ずつタブレットを貸し与えられ、それによってインターネットをすることもできる。インターネットの怖さを知る前に使い始めているという感じであり、小学生を対象にしたインターネット関連の犯罪防止教室を実施してほしい。

(3) 諮問事項説明

交通課業務について～交通課長

【委員】自治会役員を務める者として、高齢者の運転シミュレーションをもっと数多く実施してほしいと思っている。自分自身の運転状態を客観的に知ること、運転技能が危うくなってきた人は自ら返納を考えるとと思う。

【委員】最近、可搬式オービスによるスピード違反取締りをよく見掛けるが、非常に効果的だと思う。運転中のドライバーは可搬式オービスを見ると確実に運転意識が変わり、細い道や住宅街などでも実施されており、本当に危険な違反を減らすことができる。従来スピード違反の取締りでは、多数の従事員が必要だと思うが、あれなら少人数で行え、今後は更に台数を増やしてもらえればと思う。

【委員】舞鶴市民新聞に交通関係の広報記事が掲載されているが、デザインが地味でインパクトがないと感じている。地味だと目立たず読んでもらえないばかりか、読んでいても意味が伝わりにくい。長い間、同じデザインで経過しているため、新たなデザインを考えてはどうか。

【警察】広報記事については、地元新聞社からの協力で紙面をいただき、掲載をさせてもらっている。市民に知らせたい情報をたくさん載せすぎた結果、画面が雑多となって見辛くなっているのかもしれない。早速、今の意見を元に見直し、検討した上で、今後の紙面に反映させたい。

【委員】北部では除雪車が雪かきを行うたびに道路表示が削れていく。車を運転していると、薄くなっているところを結構見かけるので、見回り点検と早期対応をお願いする。また、信号機は増設ばかりではなく、過疎化により、点滅信号にしたり撤去できる場所もあると思う。その辺を考慮し、予算と効果の最も良いバランスを探してほしい。

(4) 諮問事項説明

警備課業務について～警備課長

会 議
内 容

【委員】 いざ災害が発生すると、現状では消火器の一つも満足に使用できないような気がする。そのため、各地域で積極的に定期訓練などの取組を行えば、咄嗟の時にでも身体が動くと思う。

【委員】 中舞鶴地区では毎年、各団体の長を集めて防災研修会を実施している。その際、例年、舞鶴市の危機管理室や舞鶴消防に講演を依頼しているが、今後、警察からの視点でも災害について話してもらえると非常にありがたい。

【委員】 小・中学校においても毎年、防災訓練を実施しているが、地域のみならず、市内の学校に対しても講演等を実施してほしい。

【警察】 地域・学校とも、事前に当署へ依頼をしてもらえば、積極的に出向かせていただく。

【委員】 中丹広域振興局の中にも防災担当の「防災課」があり、舞鶴市の危機管理課と常に連携を取っている。具体的には、現代はスマートフォンによって直ぐに最新情報を入手できるが、お年寄りや田舎の集落はまだそういうわけにはいかない。そんな人達でも災害発生時には住民同士が声を掛け合い、素早く適切に避難行動が取れるよう、必要となる体制・設備・連絡網の整備、地域住民への広報啓発活動などによって災害発生に備えている。

【委員】 防災に関する警察からの指導というのも、非常に興味が湧き、有意義なものであると思う。市や消防と共同し、積極的に推進してほしい。

4 事務連絡

令和5年度第1回京都府舞鶴警察署協議会は令和5年6月中に実施予定である。

以上

第4回京都府舞鶴警察署協議会の開催状況

